

令和 7 年度 和泉市医療と介護の連携推進フォーラム(案)

R7.8.6 審議会

目的	○人生の最終段階における自身の意思を尊重した生き方を、大切な人と共有するためのプロセスである「人生会議」。 ○昨年開催したシンポジウムは「本人」に着目した内容であったが、今回は高齢者本人だけでなく、その意思決定を支える「大切な人」として家族、特に子世代(働く世代)を主要なターゲットとする。 ○いつか訪れる「最後のとき」は誰にでも平等にやってくる。そして、約7割が最終段階で意思表示が困難になる。その際、本人に代わり意思をくみ取り、後悔なく最善の選択ができるよう、あらかじめ自身の思いを共有し話し合っておくことの重要性を啓発する。 ○「和泉市版人生会議メモ」を活用し、エンディングノートのように「一度書いたら終わり」ではなく、「想いは変化するもの」として、日ごろから大切な人と対話し、何度でも見直し、書き直す「プロセスそのもの」が大切であるというメッセージを伝える。 ○人生会議は決して怖いことではなく、安心と次世代の人生につながる前向きなものであることを伝える。
テーマ	(仮)大切な人と語り合う「わたしの人生会議」 ～後悔しないためのエンディングノートではない、 安心を生む「和泉市版人生会議メモ」活用術～
主催/共催	和泉市/和泉市医療と介護の連携推進審議会
対象	和泉市在住・在勤・在学の人、医療・介護従事者 特に高齢者の子世代(働く世代)
参加費/定員	無料/100 名程度 (部屋の定員200名だが、GW を考慮し設定)
日時・場所 アクセス	令和8年 月 日()午後 *1時間 50 分 和泉シティプラザ 3 階レセプションホール 住 所:大阪府和泉市いぶき野五丁目 4 番 7 号 最寄り駅:泉北高速鉄道「和泉中央」駅より徒歩約 3 分 車:難波方面より阪神高速 15 号堺線→泉北 1 号線 利用し約 50 分
日程案	3 月 1 日(日)

プログラム		
時間	内容	備考
5分	開会挨拶(市長)	開催主旨説明
15 分	人生会議とは(座長)	人生会議の定義、重要性、本人だけでなく子世代(働く世代)が関心を持つべき理由など
25 分	出演者紹介 トークセッション(座長・出演者)	笑いの中に、人生の有限性や大切な人との対話の重要性を織り交ぜながら、人生会議の理解を深める。「人生会議を重ねるメリット」、「一度書いて終わりではなく繰り返し見直し話し合うプロセスが大切」、「手段のとして人生会議メモが活用できる」、「家族間で話し合う難しさや乗り越え方、工夫点」、「人生会議メモの共有方法」、など
5 分	休憩・場面展開	
45 分	グループセッション *各グループにファシリテーターを配置 5-6人/G=ファシリ 17-20 人	参加者同士でグループをつくり、人生会議メモを書き込む体験。ファシリテータが意見交換を促し、書き方ヒントを提供。
10 分	エンディング (座長、出演者) *まとめ・感想	グループセッションでの意見交換を踏まえ、子世代視点から聴衆の声として働く世代が抱える疑問や不安を代弁しつつ、本人・家族にとって“安心を育む”ものとなるメッセージを伝える。
5分	情報提供・閉会 アンケート記入	市の取組と感謝
広報戦略	☐ 広報(月号) ☐ 市 HP ☐ いずみメール ☐ ちらし ☐ 市内医療、介護関係機関 ☐ 市内企業、公共施設配架 ☐ 高齢者の子世代(働く世代) []	